

広報みくに

No.454

平成23年5月

2011.

5



春の日差しのもと

震災や原発事故の影響により、さまざまな行事が中止となっていました。国見町青少年健全育成町民会議大枝地区推進協議会では4月29日、こどもまつりを開催しました。

春の日差しのもと会場に集まった子どもたちは、最高の笑顔を見せて楽しんでいました。

(15ページに関連記事)

◆ 今月のおもな内容 ◆

特集 復興を支える力	2
平成23年度当初予算	8
第7回国見町桜のうた	12
まちのわだい	14
くらしの情報	16
保健だより	18
生涯学習つうしん	19



女性防火クラブを中心とした日赤奉仕団のみなさん



提供されたあたたかい食事の一例

「最初は大変だったけど、約1か月半炊き出しをみんなでやってみて良かった」ボランティアで炊き出しに参加した人々全員が同じ感想を述べていました。地震発生当日から、避難者や町の災害対策本部に提供してきた炊き出しは、4月28日までの49日間および、この間、女性防火クラブを中心とした日赤奉仕団の人々は1日も休まず、観月台文化センターで炊き出しを続けました。そして、この炊き出しが町の復興を支える原動力の一つとなりました。約1か月半におよぶ炊き出しについて、町女性防火クラブ会長・町婦人会連絡協議会会長の安田節子さんは、次のように振り返っていました。「震災発生直後は、停電のため、御飯を炊くだけでも大変だった。停電していた中、ライトで照らし

てもらったりして、何とか炊き出しを続けた。その後、少しずつ食材が提供されるようになって豚汁などをつくるようになった。炊き出しが軌道にのるまでは、半月くらいかかった。大変だったけど「自分たちにもできるね」というところがあったから続けることができた」女性を中心としたボランティアによる炊き出しは、その後さまざまな食事を提供して、ある新聞の記事には「旅館なみの献立」とも報道されました。毎日提供されるあたたかい食事は、寒さが続いた震災後の日々、多くの人々に元気を与えていました。報道される避難所の中には、食事はおにぎりだけという場所もありましたが、国見町の炊き出しは栄養が十分なものばかりでした。安田さんは、「あたたかい食事を

提供することができたのは、観月台文化センターの調理実習室を十分に使うことができたから。そして、物資をそろえてくれたみんなのおかげ、全国の人々に感謝したい。また、今回の炊き出しを通して自分たちも成長することができた。これまで訓練で炊き出しをやってきたけど、実際に活動したのは初めてで、今まで良く分からなかった細かい部分も見えてきて自信がついた。みんなが一つにまとまって団結することもできた」と話してくれました。毎日の炊き出しには数多くの人々が関わってききました。そして、49日間という長い期間炊き出しを継続してこれた背景。そこには、毎日イキイキとした表情で炊き出しに参加する人々の姿がありました。

避難者と町の災害対策を支えた炊き出し

- 特集 -

復興を支える力

震災から2か月。復興を支える大きな力があってから、今、まちは少しずついつもの生活に戻りつつある。復興を支える力とは、どのようなものかに迫りました。





西気賀小学校からのメッセージを見る児童

元気づけられた支援 今度は 困っている人を 助けよう

—小坂小学校の取り組み—

ニュースでも福島の記事をみました。いろいろおこまりのようですが、がんばってください。ぼくも元気です。小坂小の五年生も元気であることを願っています。はやくひ害が小さくなるといいですね。全員ぶじでよかったですね。家はだいじょうぶですか。元氣を出してください。

〜西気賀小学校の児童から寄せられた
メッセージの抜粋〜

交流の輪が 広がった支援

静岡県浜松市立西気賀小学校。小坂小学校の児童が1年生の時から文通により交流を続け、お互いに5年生の時に初めて会って交流を深める活動をしている小学校です。その西気賀小学校の児童から4月上旬、小坂小学校の児童に対しお見舞いのメッセージと見舞金

が寄せられました。始業式の日には校舎内にはり出されたメッセージを見た児童は、みんなが元気づけられ、新しい学年をスタートさせることができました。これまで小坂小学校と西気賀小学校の交流は16年間続けられてきました。そして、これまでの長い交流には、多くの人々が関わってきました。このことが今回発生した震災に関連して、小坂小学校にさらなる支援

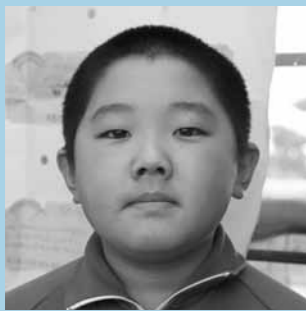
が寄せられることとなりました。震災後、西気賀小学校の袴田前校長先生の教え子にあたる方（西気賀小学校とは直接関係の無い一般の方）が、震災で被災された方に何らかの支援をしたいと相談をしました。その時、その校長先生は、福島の小坂小学校に支援をしようと言ったのでした。その結果、被災地の支援を相談した方はじめその友人や会社の方など多くの人々から善意が寄せられ、小坂小学校に見舞金と新品の学用品が大きなダンボール箱で12箱分届けられました。小坂小学校の本間貞二校長先生は、「まさに交流の輪が広がった結果。本当にうれしいことです。送っていただいた善意を有効に活用していきたい」と感謝の気持ちを表していました。遠くに離れた所の友だちである西気賀小学校の児童からのメッセージは、ずっと忘れることのない支援となりました。

もっと困っている 人々のために

西気賀小学校や関係者の方から支援を受けて元気づけられた小坂小学校の児童は、自分たち以上に困っている人を助けようと立ち上がりました。話し合いをした結果、緑の少年団活動で育て、卒業式の入学式の会場を飾ったパンジーや宿根マーガレットなどの鉢植えの花を販売し、その収益を困っている人のために役立ててもらおうことにしました。児童が育てた鉢植えの花

は、4月13日からの3日間で地域の人々に販売することとなりました。販売に向け、児童は手作りチラシを配布し、会場に立てるのぼり旗を準備し、自分たちで値段をつけました。販売初日、小坂小学校には多くの人々が詰め寄せ、用意した鉢植えの花は完売しました。そして児童が販売して得た収益は、47,700円になりました。販売した鉢植えの花の収益は、日本赤十字社福島県支部の紹介により、原発事故の影響で避難指示が出されている大熊町の2つの小学校に送ることとなりました。

小坂小学校では、地震による被害が比較的少なかったことから、西気賀小学校からいただいた見舞金の一部と関係者の方からいただいた学用品もそのまま大熊町の小学校にメッセージを添えて送ることとしました。小坂小学校の本間校長先生は、「今回の震災を通して子どもたちは自発的に困っている人を助けようという気持ちが出た」と話していました。小坂小学校の児童による精一杯の取り組みは、復興を目指す大熊町の児童の大きな励みとなることでしょう。



6年
後藤真誓くん

西気賀小学校の友達が、小坂のことを心配してくれてうれしかったです。鉢植えの花を売った時には、地域の皆さんが復興のためにやっていることを協力してくれたので良かったです。



6年
赤坂七海さん

鉢植えの花を売った時、地域の皆さんから「がんばってね。ありがとう」と言われたことがうれしかったです。大熊町の小学校の皆さん、大変だけど負けずにがんばってください。



町災害対策本部激励の千羽鶴を届けてくれた子どもたち

復興を支える力

震災からの復興に向けて、まちは少しずつ進んでいきます。仮設住宅が建設され新しい場所での生活を始める人、建物や道路の復旧工事に汗を流す人、多くの人々が復興に向って頑張っています。これら多くの人々が復興に向って頑張ることができた背景の一つには、今回紹介した人々が自分の力で

ることで復興を支えたことがあげられます。復興を支える力。それは、「今自分にできることを一杯頑張ること」ということとがこの2か月間の取材で見えてきました。多くの皆様からの義援金、救済物資、ボランティアによる協力、応援のメッセージ、これらもまた、復興を支える大きな力となっています。

中学生の自分たちにできること

— 県北中学校の取り組み —



県災害対策本部に届けた時の様子



メッセージを手渡す佐藤拓也くん



校舎にはり出されたメッセージ

募金なども考えたけど 身近にできるもの 頑張っている人々に メッセージを届けよう

震災後、災害ボランティアセンターには、多くの中学生が集まり、避難所の清掃や瓦礫の片付けの手伝いなど、町の復興のために大きな活躍を見せてくれました。そして新学期が始まると県北中学校の生徒会では、震災からの復興のために何かをしようと考えました。「普通なら募金というのがすぐに思いつくことだけど、中学生の自分たちにできることは何かということを考えました。その結果、復興に向けて頑張っている人々に感謝のメッセージを届けることにしました」と生徒会長の佐藤拓也くんは話してくれました。

県北中学校には、もうひとつの取り組みとして校舎の窓に大きくはり出された復興を支えるメッセージがあります。初めは先生が町や生徒に向けて発信したものでしたが、今後は、生徒が自分たちで考えたメッセージを発信していくこととなります。国道を通過する人々の目にとまる応援のメッセージは、県北中学校から全国の人々に発信されていきます。「僕たち中学生も頑張っていくので町のみなさんも頑張ってください」と生徒会長の佐藤拓也くんは、自分たちも頑張る決意を見せていました。

放射線のことを知る Q & A

福島県が提供している放射線関係の情報について主なものをお知らせします。

Q 地域の環境放射線は1時間あたり数マイクロシーベルトとなっていますが、数週間、数ヶ月この環境に住み続けることで、蓄積したら数ミリシーベルトを超えることもあるかと思われます。子供への影響やお腹の赤ちゃん、または将来妊娠した場合のリスクはどのくらいなのでしょう？

A 報道されている値はあくまでも屋外での空間線量です。それが屋内では一般的には5～10分の1くらいに減りますので、実際の被ばく線量は少なくなります。もちろん、蓄積されてどうなるか、を心配されるのはごもっともですが、現在の状況が継続しても、健康リスクが出ると言われる20ミリシーベルトまで累積される可能性は、ありません。同じ20という線量でも、1回で20受けるのと、365日に分けて受けるのでは影響がまったく違います。少しずつならリスクは遙かに少ないのです。

Q 自家用に野菜を栽培して食べても良いですか。

A 自由に栽培していただいてかまいませんが、緊急時モニタリング検査で暫定規制値を超える放射性物質が検出され、摂取自粛が要請された品目は自家用でも食べないようにしてください。

●暫定規制値

核種	食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定規制値 (ベクレル/kg)		
放射性ヨウ素	飲料水(注)	300	
	牛乳・乳製品(注)		
	野菜類(根菜、芋類除く) 魚介類		2,000
放射性セシウム	飲料水	200	
	牛乳・乳製品		
	野菜類 穀類 肉・卵・魚		500

注：乳幼児については、100ベクレル/kgとされています。

●5月15日現在、国見町で栽培されているもので摂取を控えるよう要請されている品目

- ・非結球性葉菜類(ホウレンソウ、コマツナ、カブ菜、サニーレタスなど)
- ・アブラナ科花蕾類(ブロッコリー、カリフラワーなど)

【各種問い合わせ窓口】

- ・放射線に関すること
福島県の問い合わせ窓口
☎024-521-8127
- ・風評被害等に関する経営相談
コラッセふくしま 経営支援プラザ
☎024-525-4019
- ・農林水産業に関する相談
福島県農林水産部農林企画課
☎024-521-7319
- ・健康相談ホットライン
日本原子力研究開発機構原子力緊急時支援・研究センター等対応
☎0120-755-199
- ◆その他詳しくは、福島県のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.fukushima.jp/j/>

■特別会計 (単位:千円)

会計名	予算額	増減率
山長育英財産	645	0.0
給食センター	91,245	△12.5
国民健康保険	1,286,056	3.9
老人保健	0	皆減
後期高齢者医療	98,986	6.0
介護保険	890,773	3.2
湧水対策施設	4,200	5.0
公共下水道	223,013	△0.8
土地開発事業	141,000	△17.1
計	2,735,918	1.4

■財産区会計 (単位:千円)

会計名	予算額	増減率
入山財産区	190	0.0
藤田財産区	0	皆減
大木戸財産区	159	△0.6
各財産区の管理に要する経費を計上しています。		
石母田財産区	985	△68.1
(石母田財産区議会により議決)		

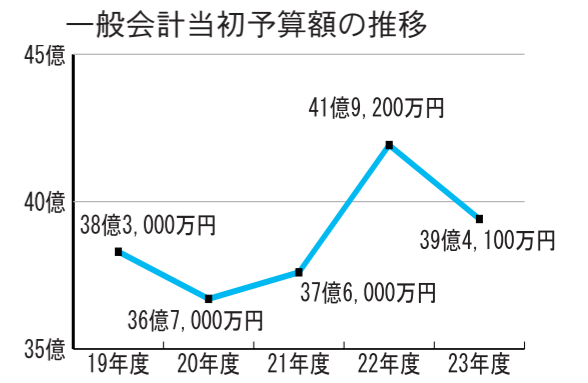
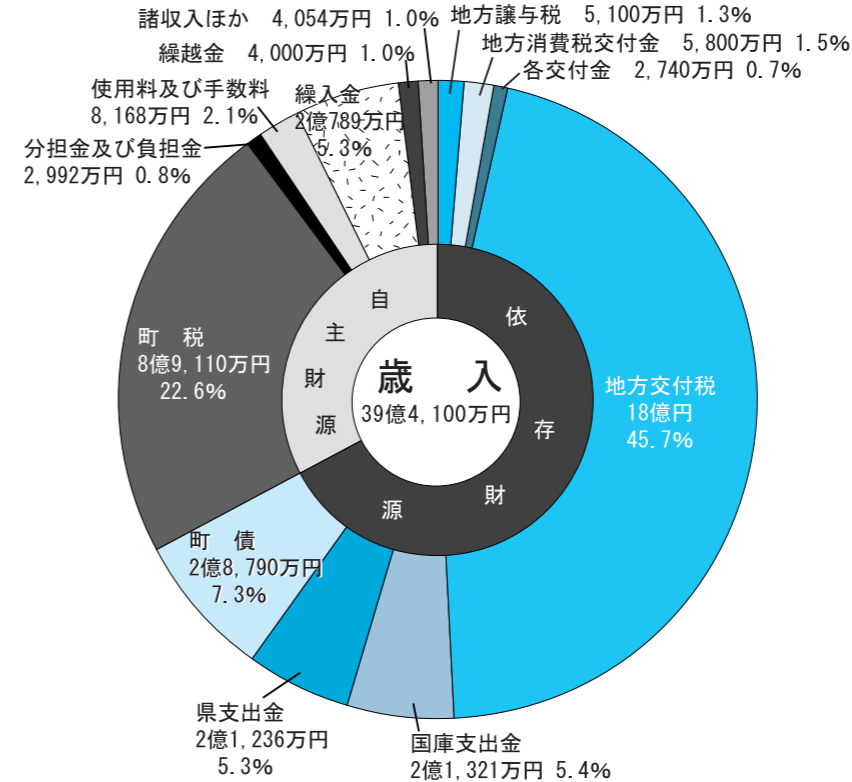
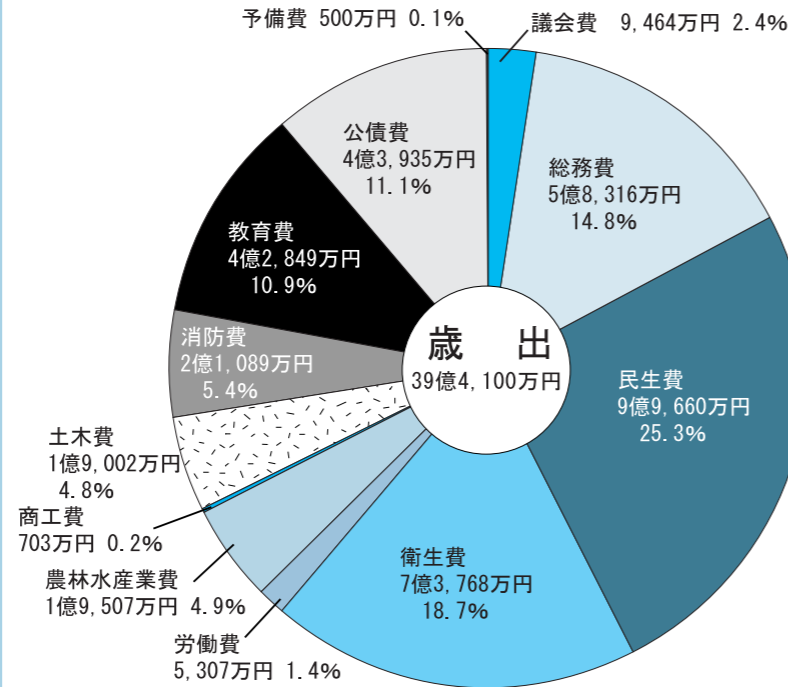
■公営企業 水道事業会計 (単位:千円)

区分	収入	支出
収益的収支	236,673	210,853
資本的収支	41,640	59,837

■一般会計性質別内訳 (単位:千円)

性質別	予算額	増減率
義務的経費	1,776,564	△0.5
人件費	970,230	0.9
扶助費	366,985	3.3
公債費	439,349	△6.3
一般的経費	1,558,184	4.4
物件費	555,327	△2.0
維持補修費	18,396	106.7
補助費等	984,461	7.3
投資的経費	167,336	△64.7
普通建設費	167,334	△64.7
補助事業	40,946	△14.7
単独事業等	126,388	△70.3
災害復旧費	2	0.0
投資及び出資金	4,000	△20.0
貸付金	13,360	△4.7
積立金	2,140	△30.0
繰出金	414,416	0.5
予備費	5,000	0.0
合計	3,941,000	△6.0
*うち人件費総額	991,582	0.7

平成23年度一般会計当初予算額は 39億4,100万円



22年度と比較して2億5,100万円の減額(6.0%の減)となりました。

平成23年度国見町各会計予算は、3月定例議会において議決され、4月より執行されています。「第5次国見町振興計画」の計画初年度として、将来像を実現するための「5本の政策」と「32の施策」に重点的に配分した予算の編成でしたが、3月11日に発生した東日本大震災の復興に要する予算を確保するため、既に2回の補正予算により、約2億3千万円の災害関連経費を計上したところ、今後は、当初予算の抜本的な見直しを図りながら、町道、下水道、各公共施設等の災害復旧に要する予算をはじめ、本格的な復興に向けた予算の確保に努めてまいります。

歳出

歳出については、行財政改革の取り組みで無駄の徹底を図るとともに、第5次国見町振興計画の実現に向けた予算に重点配分していきます。また、24年4月開校に向けた小学校統合に要する費用、同じく25年4月の幼稚園統合に要する費用にもそれぞれ所要の経費を計上したところです。

目的別の内訳は、円グラフのとおりで、民生費が一番多く、子ども手当、中学生までの医療費無料化、少子高齢化対策を重視してい

ます。衛生費では、地域医療の中核を担う公立藤田総合病院への財政支援を引き続き計上しています。

性質別の内訳は、高齢者対策等の伸びにより扶助費が3.3%増の3億7千万円程度となる一方、公債費は積極的な繰上償還により6.3%減の4億4千万円程度、普通建設事業についても防災行政無線の皆減により64.7%減の1億7千万円程度となっています。詳細は性質別内訳表のとおりです。

歳入

自主財源の基本となる町税は、経済情勢を反映し、町税全体で8億9千万円程度(前年度比6千万円程度の大幅な減)となりました。国・県支出金は、雇用創出の基金事業を活用するなど最大の財源確保に努めた結果、4億2千万円程度となり、前年度より4千万円程度の増加となりました。歳入の45%程度を占める地方交付税は、国の地方財政計画で財源が確保されたことから前年度より5千万円

増の18億円を計上したところです。町債は防災行政無線整備事業の皆減及び臨時財政対策債の減により大幅な減少となりました。この結果、歳入総額に占める町税等の自主財源は32.8%、地方交付税や国県支出金等の依存財源は67.2%となりました。



平成 24 年 4 月

新しい小学校 開校に向けて

学校名が決まる



新しい小学校の名称は

「国見小学校」

震災の影響により延期されていた新設小学校校名選考委員会が4月21日と26日の2日間、観月台文化センターで開かれました。

選考委員は、町長・議長・教育委員・小学校適正配置推進協議会委員の21名で構成され、選考委員会設置要綱に基づき、遊佐眞紀子教育委員長が選考委員会委員長を務めました。

第1回目の21日は、応募いただいた394点の作品から投票により8作品を選びました。その後、第2回目の委員会では、5つの観点(下記)別に5段階評価を行い、3作品を選びました。その結果3点に絞られ、最終的に委員による話し合いにより、新しい小学校の名称は、「漢字表記の「国見小学校」と決定されました。

◆第1次選考 8作品

- ・あつかし、阿津賀志
- ・国見、くにも
- ・国見あつかし
- ・国見中央
- ・国見光
- ・けんぼく、縣北、県北
- ・東北国見
- ・ももの里、桃の里、桃ノ郷、桃乃里(郷)

◆第2次選考 3作品

- ・あつかし、阿津賀志
- ・国見、くにも
- ・国見あつかし

2次選考で用いられた5つの観点

- ① 児童が希望や誇りを持っているもの
- ② 国見町の地域性や特色が現れるもの
- ③ 小学校の名称にふさわしいもの
- ④ 5校の校名として合致するもの
- ⑤ 町民に親しまれるもの

一票が政治を通して
自分の暮らしに
結びつく
そう思うと大切です

6/19 (日)

国見町議会議員一般選挙

東日本大震災の影響により延期となっていた国見町議会議員一般選挙を6月19日に行うこととなりました。
大切な一票 みんなそろって投票しましょう。

●投票所・投票時間

6月19日(日)投票当日の投票所は、次の5箇所です。また、投票時間は、午前7時から午後6時までとなります。

●各地区の投票所

地区名	投票所
藤田	観月台文化センター大研修室
小坂	小坂農村総合管理センター
森江野	森江野町民センター
大木戸	大木戸ふれあいセンター
大枝	国見東部高齢者等活性化センター

●投票所入場券

投票所入場券は告示後(6月14日)に発送しますが、震災の影響により町外に避難されている場合などは、入場券が届かない可能性があります。入場券が届かない場合や失くしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されている場合は投票できますので、投票所で受付の係員に申し出てください。また、遠方に避難されている場合でも現住地での投票ができますので、選挙管

●投票できる人

今回の選挙で投票できる人は次のとおりです。
・平成3年6月20日までに生まれた人
・平成23年3月13日までに国見町に転入届をした人

●期日前投票

投票当日都合により投票できない人は、期日前投票をご利用ください。
●期日前投票所
観月台文化センター
●期日前投票期間・時間
6月15日(水)から18日(土) 午前8時30分から午後8時まで

●国見町議会議員一般選挙に立候補を予定する方へ

次の日程により立候補の届出などについての説明会を開催します。
▼日時 5月24日(火) 午前10時
▼場所 観月台文化センター大研修室
◆問い合わせ
国見町選挙管理委員会
☎585-2111

交通事故死亡「ゼロ」2500日達成

国見町では交通事故死亡「ゼロ」の日が続いており、4月21日にその記録が2500日に達しました。平成16年6月から続いているこの記録。交通事故死亡「ゼロ」が続くことについて、藤田駐在所班長の橋本警部補にインタビューしました。



福島北警察署地域課 藤田駐在所班長

橋本 竜平 警部補

国見町は、国道4号線や東北自動車道の国見インターチェンジがあることで、車の通行量は少なくなく、むしろ多い方です。国道4号線をかかえている市町村で交通事故死亡「ゼロ」を継続しているところは、あまりありません。桑折町でも1年間交通事故死亡「ゼロ」を達成し、今もなお継続していますが、2500日達成は、なかなか無いことです。

国見町では、町交通対策協議会、交通安全協会、交通安全母の会、交通教育専門員の方がさまざまな努力をしてきた結果、交通事故死亡「ゼロ」が続いています。警察の力でなく、地元の人々が交通事故防止のために各種の啓発活動を自ら企画して行うなど頑張っているからです。

これからも交通事故死亡「ゼロ」を続けるために、みなさん一人一人が自分から事故を起こさないよう意識を持って行動していただければと思っています。

※橋本警部補は、5月の人事異動により県警本部総合運用指令課に異動しました。

第七回「国見町桜のうた」



【一般の部】

◆大賞

肺ひとつ切除をしたる予後の身に
桜吹雪を浴びながら立つ

青森県南部町 八木田順峰さん

◆準賞

肩に降る桜の花の一ひらは
亡妻の御霊か嗚呼帰りませ

郡山市 佐々木三郎さん

花の精になり着て踊れ亡き孫よ

汝が記念樹のさくらの下に

伊達市 菅野 福江さん



【学生の部】

◆大賞

サッカーでゴール守るぞディフェンスが
さくらの横で守っている

大枝小学校五年 實沢 恵斗くん

◆準賞

花のみち心もおどるいちりんしゃ
ぐんぐんこいで空までこぐよ

大枝小学校二年 菊地 萌さん

桜見て心おどったあのころと

同じ気持ちになりたかった

広島県並木学院高 三田 哲平さん

今年で第七回を数える

「国見町桜のうた」は、3月11日に発生した震災の影響により、4月に予定していた表彰式が中止となりました。表彰式は中止となりましたが、応募総数は、一般の部、学生の部合わせて昨年と比べて371首多い2、365首となり、北は北海道より南は沖縄、加えて海外からも短歌の応募がありました。

ありました。

「国見町桜のうた」は年々その広がりを見せています。応募いただきました素晴らしい作品については、震災から復興に立ち向かう勇氣を与えてくれるようなものもあり、国見町桜のうた実行委員会（羽根田ヒサ委員長）では、その素晴らしい作品を多くの人々に届けるために入選作品の歌集を

発行することとしました。

なお、歌集については、実行委員会事務局で3000円で頒布します。また、国見町のホームページでも紹介しています。

◆問い合わせ

国見町桜のうた実行委員会事務局(国見町役場企画課)
☎5851-2927

■入選者（敬称略）■

大賞、準賞以外の入選者は、つぎのとおりです。

【一般の部】

▶国見町長賞…南場君江（福島市）▶国見町議会議長賞…佐久間百合子（国見町）▶国見町教育長賞…中上民子（栃木県那須塩原市）▶選者賞…鴨志田和枝（茨城県常陸太田市）▶福島民報社賞…吉田ミサ（伊達市）▶福島民友新聞社賞…鴨田吉子（桑折町）▶J A伊達みらい賞…渡部えみ子（宮城県多賀城市）▶国見町商工会長賞…小田中準一（千葉縣市川市）▶福島信用金庫賞…舟部勲（白河市）▶国見郵便局長賞…千葉牧子（宮城県気仙沼市）▶くにみ短歌会長賞…平良宗子（沖縄県糸満市）▶古典鑑賞会賞…後藤正樹（京都市山科区）▶さくら賞…伊藤敏江（郡山市）山田昌子（宮城県仙台市）佐久間恵津子（福島市）桜沢育子（国見町）加藤和子（郡山市）橋本武一郎（郡山市）和泉まさ江（神奈川県川崎市）高橋とし子（宮城県白石市）高橋雄三（福島市）岡崎夕キ子（伊達市）菊池奈緒（郡山市）菱沼四郎（福島市）菱沼その（福島市）松浦恭子（伊達市）斎藤一（伊達市）岡田ヅン（国見町）林扶美子（福島市）菅野登志（福島市）岡崎征子（伊達市）三井せつ子（神奈川県平塚市）宮崎輝昭（福島市）長澤喜代（福島市）関一夫（二本松市）斎藤美恵子（川俣町）大橋邦暁（神奈川県横浜市）佐藤要子（伊達市）池田桂一（伊達市）阿部勝子（伊達市）森合恵美子（福島市）原田耕一（福島市）▼ファミリー賞…田辺道生、田辺幸夫、田辺響子、田辺聡子、田辺教子（福島市）

【学生の部】

▶国見町長賞…藤井優里（広島県並木学院高）▶国見町議会議長賞…松本香澄（福島成蹊高）▶国見町教育長賞…齊藤萌可（藤田小）▶選者賞…実沢桃夏（釧路中）▶福島民報社賞…佐藤大樹（森江野小）▶福島民友新聞社賞…武田出（名取市立第二中）▶J A伊達みらい賞…齋藤千波（福島成蹊高）▶国見町商工会長賞…芳賀智哉（聖光学院高）▶福島信用金庫賞…岡田裕貴（大木戸小）▶国見郵便局長賞…佐藤妃奈乃（大枝小）▶くにみ短歌会長賞…引地彩夏（藤田小）▶古典鑑賞会賞…大森美織（神戸市立六甲アイランド高）▼さくら賞…河城将佳、松若栽子（広島県並木学院高）遠藤晴香、小西川理子、丸山美咲（福島成蹊高）大槻華凜、佐藤彩未、佐藤圭佑、佐藤空大、川名愛莉、中村梨沙、五十嵐真結（藤田小）菅野靖子、高田圭太、齋藤大輔（聖光学院高）酒井伶奈（大枝小）松浦葵（大木戸小）野地蘭、斎藤雅敏、片平姫加（釧路中）菅原安友奈（森江野小）佐藤真里恵（福島明成高）菊地春花、高橋輪太、市村萩乃、吉田遼（名取市立第二中）佐藤拓也、岡田稚葉、井上藍（県北中）島里恵多（吹田市立豊津西中）妹尾早紀、滝澤恵（川崎医療短大）池田尚貴（本庄東高）三浦綾乃、佐藤裕宜（名取市立みどり台中）遠藤由香、寺島一輝、菅野友乃（小坂小）松川理沙（矢吹町立中畑小）上村美翔（京都教育大附属高）▶特別賞・あつかし賞…遠藤良太、菅野兼矢（県北中）赤井畑謹（藤田小）【順不同】

元気に泳げ鯉のぼり 子どもの日の会



藤田保育所では、子どもの日の会が5月2日に保育所遊戯室で開かれ、子どもたちは先生から鯉のぼりを上げることやかしわ餅を食べることなど、端午の節句についてのお話を聞きました。
その後、みんなで自分で作った鯉のぼりを手に持って元気に泳がせて、楽しく過ごしていました。

みんなで仲良く給食 1年生を食堂に迎える会



森江野小学校では5月2日、1年生を食堂に迎える会を開きました。
森江野小学校は、食堂で1年生から6年生までと一緒に給食を食べることになっています。4月に入学した1年生は、この日初めて6年生に手を引かれて食堂に入りました。1年生は拍手で迎えられ、献立の紹介に聞き入っていました。全校生による給食はとても楽しく、1年生は上級生に囲まれておいしく給食を食べていました。

福祉のために 寄附金をいただきました



福島信用金庫（黒沢勇理事長）では4月11日、国見町の福祉のために役立ててほしいと15万円の寄付金を佐藤町長に届けました。
町では、福島信用金庫より毎年多額の寄付をいただくほか、年間を通してさまざまな事業に対しても協力をいただいています。
また、この日は寄附金のほかに震災に対する見舞金も町に届けられました。

完成は平成24年2月 藤田小学校体育館起工式



藤田小学校体育館の起工式が4月19日、佐藤町長ら関係者が出席のもと藤田小学校に隣接する建設地で行われました。
建設される体育館は、福島県産のカラマツを使用したアーチ型の木造屋根が特徴で、ミニバスケットボールのコートを2面取れる大きさとなります。
平成24年度からは、新しい小学校「国見小学校」の体育館となり、国見町の小学生は全員が建設される新しい体育館を利用することになります。

ぼくのお菓子おいしいよ 森江野幼稚園は室内で遠足



森江野幼稚園では4月22日、室内で遠足をしました。原発事故の影響で遠足ができないため、遊戯室で「いす取りゲーム」を楽しんだ後、好きな場所で持ってきたシートを広げ、お弁当やお菓子を食べました。
今回、初めてのお弁当の日で、お友達に自分の好きなおかずやお菓子をを見せあい、楽しく遠足気分を味わっていました。

こどもたちが楽しんだ1日 大枝地区で「こどもまつり」



国見町青少年健全育成町民会議大枝地区推進協議会（代表後藤昌彦さん）主催による「こどもまつり」が4月29日、国見東部高齢者等活性化センターで開かれ、多くの子どもたちがさまざまなゲームなどを楽しみました。
今年は、原発事故の影響で屋外での遊びはあまりできませんでしたが、体育館でのストラックアウトやふくしま素人落語の会による「寄席」や保護者が準備した縁日で楽しみました。

原発事故に負けずに 農作業が始まる



小坂地区の農業生産法人小坂アグリ（朽木勝之代表）では5月初旬、作業を請け負った水田で代掻き作業を始めました。請け負っている水田は、20haとなり、大型トラクターが休む間もなくエンジン音を響かせていました。
今年は、原発事故の影響で田植えが遅れ、収穫も遅れる見込みですが、米の場合、秋の収穫前の気温が影響するとのことで、今後の気象状況に期待を持って農作業に取り組んでいました。

在宅介護の負担を軽減 介護慰労金を贈呈



重度の要介護者を自宅で介護している方に対する介護慰労金の贈呈が4月26日、町内の対象となる世帯に対して行われました。当日は、佐藤町長が介護をしている方の自宅を訪れ、家族に励ましの言葉をかけ、介護の労をねぎらいました。
介護慰労金は、家族の精神的な負担を軽減し、居宅介護の支援をすることを目的として贈呈されるもので、今年度は5人の方に贈られました。

募 集

国見町職員 (大学卒程度)

町では、平成24年度職員採用候補者試験の受験者を募集します。

【一般事務（行政）】
▼募集人員 若干名 ▼受験資格 昭和57年4月2日から平成2年4月1日まで生まれ、平成24年3月までに卒業見込みの人。 ▼募集期間 5月26日（木）から6月24日（金）まで（郵送の場合）は6月22日の消印分まで）

▼一次試験日 7月24日（日） ▼一次試験会場 福島市金谷川1「福島大学」（予定） ▼二次試験日 一次試験合格者に通知 ▼試験方法（二次） 教養試験、専門試験、適正検査（二次） 作文、面接 ▼申込用紙請求 総務課で交付。郵便で用紙を請求する場合「大学卒試験申込用紙請求」と表に朱書きし、120円切手を貼った自分宛の封筒を必ず同封。

◆申込、問い合わせ 総務課庶務係
☎585-2112

国家公務員三種 (税務)試験

仙台国税局では、税務職員を募集しています。国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか。

▼受験資格 平成2年4月2日から平成6年4月1日生まれの人 ▼受付期間 6月21日（火）～6月28日（火） ▼申込書の請求 最寄りの税務署、仙台国税

局人事第二課または人事院東北事務局まで
◆問い合わせ 人事院東北事務局
☎022-221-2022
仙台国税局人事第二課
☎022-263-1111

税の軽減または免除

平成23年4月27日に「東日本大震災の被災者等に係る国税関係法律の臨時特例に関する法律（震災特例法）」が施行されました。

震災により被害を受けた人を対象として、所得税や自動車重量税などの税金の軽減または免除などを受けられることができます。

詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。
福島税務署までお問い合わせ
◆問い合わせ 福島税務署
☎534-3121

国税庁ホームページ
www.nta.go.jp

自動車税の課税延期

福島県では、平成23年度の自動車税の定期課税（5月課税・5月末納期限を延期します（延期する期間は未定です））。このことにより、自動車税納税証明書（継続検査用・構造等変更検査用）の有効期限も延長することとなりました。つきましては、平成22年度課税により交付された納税証明書の有効期限は平成23年5月30日となつていますが、平成23年10月30日に読み替えることとしましたので、お手持ちの納税証明書は引き続き大切に保管してください。

また、災害に遭われた自動車に係る自動車税の救済措置については、現在検討中です。災害の影響によつて3月31日（木）までに廃車（抹消登録）の手続きを行えなかった自動車に係る自動車税の救済措置についても、現在検討中です。

農業委員会 6月の総会

6月に招集される町農業委員会の総会についてお知らせします。総会では、農地の賃貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。

・日時 6月20日（月）午後1時30分
・場所 観月台文化センター 第1会議室
◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

なお、抹消登録の手続きについては、福島運輸支局（☎546-0345）にお問い合わせください。

◆問い合わせ 福島県税務課
☎521-7069、7070、7205

行政相談委員に 羽根田ヒサさんが再任

町の行政相談委員に羽根田ヒサさんが再任されました。行政相談は、役所（国県及び町）や特殊法人などの仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、その解決を促進するよう相談に応じるものです。

行政相談委員の羽根田さんはいつでも自宅でも電話による相談を受付けています。
（☎585-4740）

◆問い合わせ 総務課庶務係
☎585-2112

農業者 戸別所得補償制度

平成23年度農業者戸別所得補償制度について、農家の皆様からの相談を受け付けるため、相談窓口を設置しました。この制度の申請は、5月16日から22日まで（土、日曜日も受付可）観月台文化センターで受け付けします。なお、都合によ

りこの期間においていただけない方のために6月30日まで、随時受付もします。（ただし、平日のみ。午前8時30分から午後5時まで）

◆申請場所 産業振興課（観月台文化センター内）

◆相談窓口 国見町産業振興課
☎585-2986

J A伊達みらい国見営農センター
☎585-2660

水道管漏水 発見のお願い

町では、毎年専門業者に委託して漏水調査を実施し

ていますが、すべての漏水を発見するには至っておりません。引き続き貴重な水を無駄にしないため漏水調査を実施し、漏水の発見・解消に努めていきますが、町民の皆様のご協力が不可欠です。もし、道路など原因不明の水が流れているなど漏水の疑いのある場所を発見されましたら、上下水道課水道係へご連絡くださいますようお願いいたします。

◆連絡先 上下水道課水道係
☎585-2997
夜間休日
☎090-2796-5300

6月の相談会

【心配ごと相談】

- ・開催日及び相談員
9日（木） 齋藤 洋子さん
木村 正義さん
23日（木） 三瓶 茂さん
佐久間フミさん
- ・場所 観月台文化センター 第2和室
- ・時間 午前9時～正午

【障がい者相談】

- ・開催日 21日（火）
- ・場所 観月台文化センター 保健指導室
- ・時間 午前10時～午後4時
- ・相談事業受託者 特定非営利法人 福島・伊達精神障害者福祉会「ひびきの会」

戸籍の窓口

4月1日～4月30日受付分

結婚おめでとう

- 渡邊 哲也さん (山崎宮館)
- 鈴木 伴子さん (山崎館)
- 太田 民生さん (山崎館)
- 平野亜沙美さん (山崎館)
- 吉田 裕樹さん (山崎小館)
- 八巻 陽香さん (山崎小館)

誕生おめでとう

- 笹木 惟誠ちゃん (板橋南)
- 利幸さん 好美さん
- 湯尾 愛咲ちゃん (大坂)
- 直大さん 梢さん

おくやみ申し上げます

- 佐久間嘉子さん 88 (第12)
- 伊藤 トシさん 92 (第3)
- 熊坂 マツさん 90 (内谷東)
- 佐藤 ツケさん 91 (貝田)
- 谷津 昌二さん 59 (大木戸)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

交通事故発生状況 1月～4月

	管内	国見
人身事故件数	23	6
死者	0	0
傷者	28	7

人口と世帯

平成23年4月30日現在

人口 10,265人 (△16)

男 4,957人 (0)

女 5,308人 (△16)

世帯 3,347世帯 (△6)

※5月号より、広報紙では住民基本台帳人口を掲載します。

今月の納税

軽自動車税 (全期)

納期限は…

5月31日 (火)

です。



町長の講演を聞く学級生

**新たな生きがいづくり
「成人学級開講式」**
成人学級の開講式が5月13日、観月台文化センターで開かれ、学級生26名が出席しました。
開講式では、武田教育長が、「成人学級で新たな生き

がいづくりやお互いのコミュニケーションを深めるよう、楽しく研修に参加してください」とあいさつを述べた後、グラウンドゴルフや健康料理教室など年13回行う予定の活動内容について説明がありました。
引き続き記念講演が行われ、佐藤町長が「大地震と国見町の防災について」と題して、今回の東日本大震災における、町の被害状況や災害対策の状況について話をしました。講演を聞いた学級生は、町の被害の大きさに驚いていました。

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

- 《6月》
- 3日(金) 成人学級「萬歳楽山ハイキング」
 - 6日(月) 休館日
 - 9日(木) 子ども移動図書館(森江野小)
 - 13日(月) 阿津賀志学級「奉仕作業・交通教室」
 - 子ども移動図書館(藤田小1年)
 - 14日(火) 子ども移動図書館(小坂小)
 - 16日(木) 子ども移動図書館(藤田小3年)
 - 19日(日) 家庭の日
 - 20日(月) 子ども移動図書館(藤田小2年)
 - 24日(金) 成人学級「グラウンドゴルフ教室」
 - 子ども移動図書館(大枝小)
 - 27日(月) 子ども移動図書館(大木戸小)
 - 30日(木) ブックスタート

奥山家の文化財を一時避難

国登録文化財である奥山家住宅(藤田字北地内)も今回の震災により大きな被害にあいました。特に、敷地内にある石蔵・土蔵は、崩壊の危険性があるため解体されることとなりました。
奥山家の蔵には、幕末から昭和初期にかけての古文書・美術品・民具等が一括して収蔵されています。町の歴史を語る重要な資料であることから、このほど所有者の依頼を受け文化財の運び出し作業を行いました。作業は、ふくしま歴史資料



文化財を運び出す様子

保存ネットワーク(事務局・福島県歴史資料館)所属の専門家と国見町郷土史研究会の協力を得て行いました。今後は、運び出された資料の整理作業を行う予定です。

阿津賀志山防塁第9次発掘調査 現地説明会

- 日時 5月28日(土)午後1時30分
- 場所 阿津賀志山防塁赤穂地区(大木戸字赤穂地内)

※駐車場は、調査現場の西約800mのJA伊達みらいライスセンターです。案内員を配置します。

中尊寺ハスを移植 見頃は7月下旬

平成21年に岩手県平泉町の中尊寺から株を譲り受け栽培してきた中尊寺ハスを、このたび西大枝字下二重堀の阿津賀志山防塁を望む田に移植しました。
中尊寺ハスは、金色堂に安置されている藤原泰衡の首桶から発見された古代ハスで、薄紅色の清楚な花を咲かせます。見頃は7月下旬です。観月台文化センターでも引き続き栽培しています。どうぞ開花を楽しみにしてください。

歯の衛生週間

みがこうよ
未来へつなげる しょうぶな歯



6月4日～10日までは、「歯の衛生週間」です。
厚生労働省と日本歯科医師会では「8020(ハチマルニイマル)運動」を行っています。町においても県歯科医師会から認定された方を表彰します。(詳しくは後日回覧でお知らせします。)
この機会に「口の中の健康」を見直してみたいはいかがでしょうか。

『8020(ハチマルニイマル)運動とは?』
生涯を通じて自分の歯で食べる楽しみを味わえることを目標にした、歯の健康づくりのための運動です。年齢や食べ物の種類を問わず「噛む」ためには20本必要といわれており、「80歳で20本の歯」と具体的に数値化した名称になっています。

検診で自分の健康を
チェックしましょう!
春の総合検診が6月28～7月2日、7月4日～8日、11日～13日(延べ13日間)にわたって実施されます。詳しくは、後日お知らせします。

*** ニコニコ相談会 ***

対象者	実施日	実施時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	7月20(水)	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒にいれて)を忘れずに!
《申し込み方法》前日まで保健福祉課または藤田保育所(☎585-2374)に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成23年3月生まれ) ・9か月児(平成22年9月生まれ)	7月26日(火)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに!

～ つつがむし病の予防について ～

本県では5月が春季のピークとなっていますので、外出する場合は注意しましょう。また、症状が疑われる場合は早めに医療機関を受診して下さい。

- 1. つつがむし病とは**
病原体(リッチケア)を保有するツツガムシの幼虫に刺されたときに、感染する病気です。(すべてのツツガムシの幼虫が病原体を有しているわけではありません。)
ツツガムシはダニの一種で非常に小さいため、付着しても見逃してしまいます。また、刺されても刺し口に蚊やノミのような痒みや痛みを生じません。
- 2. 症状**
刺されてから1週間から10日ぐらい経過した後、頭痛、関節痛、悪寒、発熱(38℃～40℃)、刺し口付近のリンパ節腫脹、背中から胸部にかけての発疹投の症状が出ます。
- 3. 刺されやすい部位**
脇の下や太股、腰の比較的柔らかい部位を刺されることが多い。
- 4. 予防方法**
 - (1) 山林、原野、農耕地等に入る時には、長袖、長ズボン、長靴等を着用するなど、肌の露出をできるだけなくすこと。
 - (2) 帰宅後には、万が一付着しているかもしれないツツガムシの幼虫に刺されないために、すぐに入浴をしてツツガムシを洗い落とし、下着まで着替えること。
 - (3) その他
つつがむし病は、人から人へは感染しません。

第2回 愛する子の元気な笑顔



鈴木さん夫妻と3人の子どもたち

3月11日に発生した巨大地震。電気やガスが止まってしまふなど、多くの人が不自由な生活を送ることとなりました。そんな中でも、愛する子のために震災直後の困難を乗り越えた家族の話題を紹介します。

「地震の時は、テレビや電気ポットなど部屋中のものが倒れてしまいました。揺れがひどく動こうと思っても動くことができませんでした。そして、出産直後で歩くことができなかったため、病院の人たちに運んでもらって一時的に車の中に避難しました。また、栄養のあるものを食べるのができなくて、母乳が出なくなり大変でした」と当時の状況を振り返るのは、地震発生の日3月11日に三男の翔太くんを出産した鈴木真梨子さん（築館）。真梨

子さんが翔太くんを出産した場所は、伊達市内の産科で、幸いにも停電とならなかつたため、大きな混乱はありませんでしたが、断水の影響で水を確保するのに苦労しました。そこで、夫の穰さんは、車の燃料を何とか確保して真梨子さんと生まれたばかりの翔太くんのために水を運び、2人を支えました。

震災による出産の苦労についての話を聞いているうちに穰さんは、「二男の方が大変だった」と話し始めました。地震発生時、穰さんは二男の陽太くんが40度の高熱を出したため、伊達市内の別の病院にいました。「地震で停電となってしまい、診察が続けられなくて、その日は熱さましの薬を飲ませるだけで何もできなかった。その後、何も食べない、水も飲まない状態となり、普通なら点滴をするようだけど、停電で点滴が出来なかつた。それでも、先生が懸命に対応してくれたおかげで、二男は元気になることができたと穰さんは診察してくれた医師に感謝の気持ちを表していました。

震災でさまざまな困難があつたにも関わらず、穰さんと真梨子さんは、愛する子のために頑張りました。そして子どもたちは、それに応えるように青空を泳ぐ鯉のぼりの下で元気な笑顔を見せていました。

耕作放棄地に植えられた菜の花（阿津賀志山山頂付近）



小さな天才たち

藤田小学校



「切りこみを入れて」
2年 山本 深月



「春の花畑」 4年 岡田 滯亜



「いろいろ野菜」 6年 渡邊 千結

あ と が き

震災後、多くの人々から「役場の人は頑張っているね」と声をかけていただきました。この言葉は本当にありがたかったです。大きな励みになりました。そして、声をかけてくれた町の皆さんの方がもっと頑張っているように感じた2か月でした。（A.S）